

ひょうごボランティア国際年記念フォーラム

ボランティア・スクエア 2001 開催趣旨

～成熟社会におけるボランティア・セクターの形成に向けて～

○ 目 的

「2001年ボランティア国際年」は、1997年の第52回国連総会において、日本の提案に基づき採択されました。この決議には、日本を含め123カ国が共同提案国に加わりました。日本が提案した背景には、阪神・淡路大震災やナホトカ号重油流出事故などを契機とするボランティアの活躍とボランティア活動や市民活動に対する国民的関心の高まりなどがあります。

ボランティア国際年は、国際的なボランティア活動だけではなく、各国の各地域で日々取り組まれている多様なボランティア活動をすすめることを目的としています。具体的な目的として、①ボランティアに対する理解を深める、②ボランティアへの参加が促進される環境を整備する、③ボランティアのネットワークを広げる、④ボランティア活動を推進する等、4つの柱から構成されています。

阪神・淡路大震災を経験した兵庫県でのボランティア国際年は、地域で地道な活動を続けているボランティアグループとさまざまな分野で積極的に活動を広げつつある市民活動団体間のネットワークを広げ、ボランティア・市民活動団体の活動を推進するための資金調達と支援者の社会貢献の場となるようなマーケットを構築する契機の年とします。

また、兵庫県ボランティア協会をはじめとするボランティア活動の促進に携わる各団体が連携することにより、全県のボランティアが集い交流する場とします。

○ 期 日

2001年1月21日(日)

10:30～16:00

○ 会 場

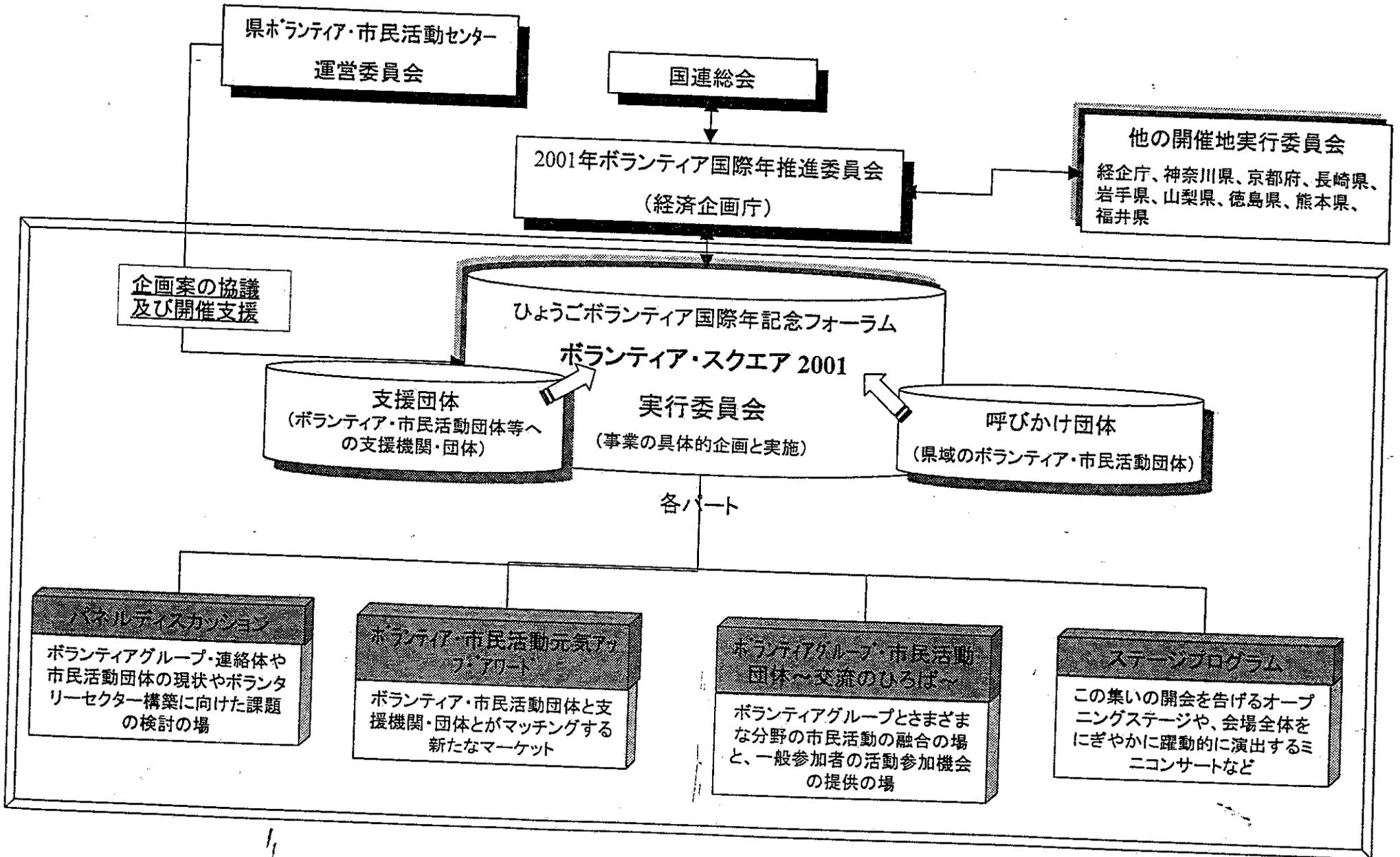
神戸駅周辺

(クリスタルホール、デュオこうべ、ハーバーランドスペースシアター)

○ 規 模

ボランティアグループ	200グループ	・	1,000人
市民活動団体	50団体	・	500人
支援機関・団体	20団体	・	60人
合 計	270グループ・団体	・	1,560人

ひょうごボランティア国際年記念フォーラム 運営組織図



2

1

「ボランティア・スクエア2001」実施結果

開催日：平成13年1月21日（日）

会場：神戸クリスタルタワー、デュオこうべ、神戸ハーバーランド

実行委員会

伊丹市社会福祉協議会ボランティア活動センター、関西電力神戸支店、がんばろう!!
神戸、神戸愛の輪福祉会、神戸YMCA、生活協同組合コープこうべ、PHD協会、
ひょうごセルフヘルプ支援センター、兵庫県ボランティア協会、ブレンヒューマニ
ティー、神戸市社会福祉協議会ボランティア情報センター、神戸市、兵庫県、兵庫県
社会福祉協議会
以上14団体

〔プログラム別実施結果〕

1、パネルディスカッション 10:30～12:30

（会場：神戸クリスタルタワー、クリスタルホール）

- テーマ 「あなたは、今、輝いていますか？」
- コーディネーター 筑波大学 教授 鳥越 皓之氏
- パネラー 国際葛グリーン作戦山南 理事 浅倉 陽子氏
「さざんか」 代表 湯里 茂子氏
農業研究会 代表
第2回神戸垂水よさこいまつり学生実行委員会
副委員長 三本松 慎二氏
フリーランスプランナー
こども環境活動支援協会 専務理事 川島 憲志氏
- ゲストスピーカー ボランティア活動推進国際協議会
会長 ケン・アレン氏
- 参加者 290名
- | | | |
|--------------|--------|------|
| ・兵庫県ボランティア協会 | 29グループ | 158人 |
| ・市民活動団体等 | 25団体 | 75人 |
| ・個人、その他 | | 57人 |

2、ボランティアグループ・市民活動団体～交流ひろば～ 11:00～16:00

（会場：神戸ハーバーランド、スペースシアター）

- 当日参加・協力団体

- ・出店参加団体 32団体
- ・ポスター・掲示物参加団体 36団体
- ・資料展示団体 40団体
- ・その他 6団体（擬似体験協力団体、VIS等）
- ・運営協力団体 2団体

3、ボランティア・市民活動元気アップアワード 11:00～16:00

（会場：デュオこうべ、デュオドーム）

■当日参加・協力団体

- ・国際年コース ステージ発表団体11団体
- ・こつこつコース ブースでのアピール団体31団体
- ・司会 有光るみ氏（プロジェクト1-2）
- ・ステージプログラム協力団体
AIOI すみれ少年少女合唱団55人
加納浩美（百番目のTシャツ）
- ・手話通訳者5名

■当日審査（第2次審査）結果

★国際年コース 大賞

特定非営利活動法人ブレンヒューマニティー（賞金100万円）
他、発表10団体は賞金20万円

★こつこつコース1位

神戸いのちの電話（賞金15万円）
他、30団体は賞金10万円

■当日審査（第2次審査）審査員

審査員長	立木 茂雄 氏	関西学院大学教授
審査員	島田 誠 氏	アートサポートセンター神戸代表
	鳥越 皓之 氏	筑波大学教授
	真嶋 克成 氏	大阪NPOセンター理事
	増野 俊則 氏	神戸新聞社論説委員
	ロニー・アレキサンダー氏	神戸大学教授
	涉 祥章 氏	兵庫県共同募金会事務局長

アワードに協賛金をいただいた機関・団体から

木口 一郎 氏	（財）木口ひょうご地域振興財団事務局長
芝吹 希代志 氏	（有）兵庫福祉保険サービス代表取締役
由良 真木子 氏	ひょうごセルフヘルプ支援センター 運営委員

■アワード応募団体

国際年コース 53団体
こつこつコース 144団体

「ボランティア・スクエア2001」協力団体等

イベント協力団体・個人

兵庫県手話サークル連絡会、神戸聾啞協会、グループつばさ、ボランティアグループやすらぎ、V I S、マジックピエロ、AIOI すみれ少年少女合唱団、加納浩美（百番目のTシャツ）、有光るみ（プロジェクト1-2）、桑原英文

以上10団体・個人

資金協力団体・個人

朝日生命保険相互会社神戸支社 岡本印刷(株) (株)関西トラベルエージェンシー 関西電力(株)神戸支店 (財)木口ひょうご地域振興財団 (株)岸本印刷所 (株)旭成社 (株)近畿ファミリー 近畿労働金庫 黒田裕子 神戸新聞厚生事業団 神戸すすらんライオンズクラブ 三栄産業(株) JAグループ兵庫 (株)島印刷 神東出版印刷(株) 住友海上火災保険(株)神戸支店 生活協同組合コープこうべ 但馬銀行上筒井支店 田中印刷出版(株) (株)トライス (財)長谷川福祉会 浜村企画(株) ハリマ共和物産(株) (株)ピークルベース 兵庫県オールアカデミー (福)兵庫県共同募金会 (福)兵庫県社会福祉協議会 兵庫県商工会連合会 (有)兵庫県職員互助サービス 兵庫県モラロジー青少年団体連絡協議会 兵庫県遊技業協同組合 兵庫県連合婦人会 (株)兵庫ジャーナル社 ひょうごセルフヘルプ支援センター (財)ひょうご地域福祉財団 (有)兵庫福祉保険サービス 福田印刷工業(株) (有)わかばやし印刷

(50音順・敬称略) <2001年1月19日現在> 39団体・個人

イベント運営スタッフ・ボランティア

総勢61名 (県社協職員 13名 (Vセン4名を含む))

実行委員	7名
神戸愛の輪福祉会	20名
関西学院大学学生	19名
ひょうごセルフヘルプ支援センター	2名

(「パネルディスカッション」は、上記とは別に兵庫県ボランティア協会のボランティアが12名)

ボランティア・市民活動元気アップアワード 受賞団体

「国際年コース」 大賞 特定非営利活動法人 プレーンヒューマニティ

神戸アイライト協会
ドングリネット神戸
阪神・淡路大震災まち支援グループ まち・コミュニケーション
豊岡市少年少女音楽隊
2001 全国雑木林会議 実行委員会
特定非営利活動法人 コミュニティ・サポートセンター神戸
神戸定住外国人支援センター
特定非営利活動法人 多文化共生センター 多文化共生センター・ひょうご
国際葛グリーン作戦山南
特定非営利活動法人 日本災害救援ボランティアネットワーク

(11 団体)

「こつこつコース」 大賞 神戸いのちの電話

ひよどり台ふれあいまちづくり協議会福祉部ボランティアグループ
人形劇 たけのこ
日本語学習を助ける会
保育ルーム びっぴ
介護ボランティア 愛善会
奥須磨公園にトンボを育てる会
仁川団地自治会
潮江子育て学級
ウィメンズネット・こうべ
朗読ボランティア「声のあけぼの」
社会福祉法人 すばる福祉会
サークルさえずり
東灘・地域助け合いネットワーク
西宮移送サービス
神戸大学総合ボランティアセンター
こころのケアステーション
西宮 YMCA 学習障害児サポートの会
KOBE ふれあいの会
ハートブレイク
シルバーライフ情報 友の会
市立芦屋病院ボランティア
のばらグループ
神戸有言会
西宮地域たすけあいネットワーク
栗柄ボランティアグループ
コープボランティアグループささゆり
CAP こうべ
ふるさと青年協力豊か会
点訳ボランティアグループ連絡会
東加古川公民館点訳グループ「せせらぎ」

(31 団体)